



魅力ある水辺空間の形成
(60cm x 43cm)



ダム事業
(60cm x 43cm)

洪水の多い日本、もう1つの理由
～気象条件が生み出す水害～

いままで見ていた日本から分かるように、日本は国土の70%が山地と傾斜地になっており、大雨が降ると急な流れを作り出し、水害の原因になっています。しかし、日本の水害は地形的な原因ばかりでなく、私たちの暮らしに影を落とす、四季の移り変わりも水害の原因となっているのです。

<p>● 地形依存的 急峻以外で発生する水害の多くは、経路の中心には、雨降の気圧、風が吹き込み、上昇気流が生じて天気が悪くなります。台風のようなど大雨が降り続きます。</p>	<p>● 梅雨前線 6月から7月にかけ日本の海岸沖に発生する前線。その前線の後半には大雨の降り幅が広がります。梅雨明けが降り続くのも特徴です。</p>	<p>● 雷 雨 夏、夏の午後、巨大な積乱雲が発達して雷が頻りに降り続きます。一時間ほど降り止むのが普通ですが、時には猛烈な雷が降り、雷を誘発し、雷水で大きな被害をもたらします。</p>
<p>● 集中豪雨 比較的狭い地域に、短期間に強い雨が降ることをいいます。前期の終わりに多く、かけ離れた大雨など、大きな被害をもたらします。</p>	<p>● 台風 太平洋上に生まれ、日本の南岸を北上してきて、夏から秋にかけて、暴風雨を伴い日本を襲います。台風が通過で雨が多くなる水害が頻ります。</p>	<p>● 融雪洪水 雪の多い地方では、春の雪どけ水による洪水が発生します。雪どけによる洪水は、融雪が速いのが特徴で、気象の急変や融雪が速いのは注意が必要です。</p>

洪水の多い日本、もう1つの理由
(85cm x 63cm)

水害を事前に防ぐために...
～まずは目と目で確かめよう～

洪水による被害をなくし、安全で豊かな国土づくりのために、毎年計画的に治水事業が行われていますが、何よりも水害を事前に防ぐ事が重要です。各地の市町村では洪水を警戒し、被害を最小限に抑えるため、河川の監視・情報交換、危険箇所の応急対策・復旧などの水防活動を行っています。

● 水防活動に参加しましょう
各市町村で行われている「水防訓練」は、水害からの身の守り方や、地域ごとに追加して行われる様々な水防活動の訓練です。積極的に参加して、知識を身につける事が「水防」の第一歩です。

● 雨も水害につながる危険
建設費ではスムーズな水防活動を行えるように、雨前や雨明けの状態などの情報を提供しています。水害を防ぐためには、地域住民のみならず、企業や自治体、市町村が一体となるのが重要です。

● 毎年5月は「水防月間」です
毎年、出水期を迎え5月を「水防月間」と定め、「水防月間」やPR活動を全面的に行っています。

水害を事前に防ぐために...
(85cm x 60cm)

避難場所を調べておきましょう
～もしましに備えて～

イザという時に備えて、避難場所を調べておきましょう。避難場所までのルートも確認しておくことも大切です。また、お年寄りや小さな子供、病気の方があるご家庭では、より安全な避難場所、避難ルートを確認しておくことも大切です。また、各市町村が発行している「避難マップ」は避難場所、ルート確認に大いに役立ちます。

<避難場所とルートの確認POINT>

- 1 避難場所と避難ルートを公認しているもので、確かめましょう。
- 2 水害の避難場所は地震や火災の避難場所と異なり、限られたところのみとなりますので確かめましょう。
- 3 地域センターや個人会館などを一時的な避難場所とする場合もありますので、調べておきましょう。
- 4 避難場所へ行くまでの緊急なルートを確認しておきましょう。
- 5 避難ルートは複数あるルートを選びましょう。
- 6 緊急の場合は、近くの安全な避難場所や避難所まで避難場所へ行くことも確認しておきましょう。

これは便利！ 施設マップ
各市町村が発行しているこのマップには、各公共施設が掲載されています。避難場所や避難ルートを確認して、事前に避難場所を確認しておきましょう。

避難場所を調べておきましょう
(85cm x 63cm)

水防団出動！
～私たちを、地域を守ってくれる人々～

洪水の時にどう行動し、皆さんの住んでいる地域を守る「水防団」という組織を知っていますか？ 地域の人々の生命や財産を守るため、危険をわきま水防活動を行っている組織です。

地域住民で構成されている消防団が中心となり、水防活動が行われます。「水防団」へと変化する。迅速な対応をしています。そんな水防団の方々を支援するための水防活動は、どのような生活をしているのでしょうか？
ちょっとのそいで見ましょう。

弘前市消防団副団長 船橋地区団長 佐藤 公夫さん

佐藤さんは昔は山で農業をして、農業を営んでおられますが、昭和47年に消防団に入団し、後手の洪水を数回にわたって経験されています。佐藤さんに、消防団に入団した理由を聞いてみました。

「自分たちの住んでいるところは昔ながらの田舎で、昔ながらの生活スタイルです。私たちが忘れてはならないのが、水防活動です。」

水防団出動！
(85cm x 60cm)

安全で快適な冬の生活をおくるために
～弘前地区 消流雪水導入事業～

消流雪水導入事業とは

「消流雪水導入事業は豪雪地帯を対象として冬の間も安全で快適な生活を送ることができるよう、市街地から雪を排除する機能を確保するための事業です。弘前市街地を流れる中小河川に、水害の豊富な岩木川から「消流雪水」を供給するための取水設備などの整備を行い、常に水量を確保することで市街地の水路から岩木川へ水をスムーズに流すことができるようになります。」

現況 → **導入後**

安全で快適な冬の生活をおくるために
(85cm x 63cm)

安全で安心な暮らし～もしましに備えて～

小さな、心がけを。 川とくらす、洪水に備える

ふだんのちょっとした心がけで、大切な命を守ることができません。大きな被害を防ぐことができます。川を生きるくらすは、「雨水がくるとかも～」という気持ちを忘れずにいよう。

雨の降り方に気を配ろう
ふだんから雨の降り方を注意し、川の水位に注意すること。心の準備をしておくことが大切です。大雨が降ると、河川が氾濫する恐れがあります。大雨が降ると、河川が氾濫する恐れがあります。大雨が降ると、河川が氾濫する恐れがあります。

雨の降り方に気を配ろう
ふだんから雨の降り方を注意し、川の水位に注意すること。心の準備をしておくことが大切です。大雨が降ると、河川が氾濫する恐れがあります。大雨が降ると、河川が氾濫する恐れがあります。大雨が降ると、河川が氾濫する恐れがあります。

避難場所を確認しよう
避難場所を確認し、避難ルートを確かめよう。避難場所を確認し、避難ルートを確かめよう。避難場所を確認し、避難ルートを確かめよう。

避難場所を確認しよう
避難場所を確認し、避難ルートを確かめよう。避難場所を確認し、避難ルートを確かめよう。避難場所を確認し、避難ルートを確かめよう。

避難場所を確認しよう
避難場所を確認し、避難ルートを確かめよう。避難場所を確認し、避難ルートを確かめよう。避難場所を確認し、避難ルートを確かめよう。

小さな、心がけを。
(90cm x 60cm)